

裾野麗峰山の会・山行報告書		文・GM	写真・GT
山行番	NO. 1887		
日時	2020/10/2 (金) 晴れ		
山域	長野県塩尻市・坊主岳 (1961m)		
コース	長泉町5:00ー中部横断道ー中央道ー小黒川SICー権兵衛トンネルー奈良井ダム ー登山口9:05ー山頂11:25 (昼食) 山頂12:05ー登山口 13:35ー仲仙寺ーキャンプ地 (泊)		
標高差	上り 登山口1050m ~ 坊主岳山頂1961m=約911m 下り 同上		
快適度	3 (5段階評価) = 天気 晴れ・風あり・笹藪多い		
参加者	後藤、加藤、星、合谷=4名		

プレ秋山合宿ということで、おそらく最初で最後になると思われる坊主岳、経ヶ岳へ山行。

10月7~9日に予定していた、白砂山・草津白根山の秋山合宿が台風14号接近・前線のため中止となり、結果、今回の山行が実質的に秋山合宿となった感じ。

2日5時長泉町を出発し、富士ICで加藤さんをピックアップ。そこから一般道、中部横断道、中央道を走る。今回、試しに中部横断道を利用したが、二か所R52に降りるので、まだまだ使えない。小黒川SICで降りて権兵衛トンネル(4.2km)を抜けて、奈良井ダムの手前で坊主岳登山道の看板を見つけて、無事に登山口に到着。

マイナーな山のせいか、登山口の駐車スペースには非常に狭く、大きい車は方向転換するのも難しそうだった。

9時5分に登山口を出発、登り始めからいきなり急登である。

少し登ると小さな祠が祀ってあったので、皆で今日の安全登山を祈願した。

祠から上も、とにかく急登が続く。頂上に向かって一直線に登っている感じがした。

1時間近く登ると三角点(1429m)に到着。

ここは休息ポイントなのか椅子が置いてあったが、展望はない。



登山道への看板



登山口



登山口から少し登った所にある祠と石碑



登り始めの急登

三角点 (1429m)

三角点から、しばらく 1600m ぐらいまでは少し勾配が緩やかになったが、笹藪が多くなってきた。笹藪に覆われてはいるが、登山道はあり、藪漕ぎはしなくてよかった。1600m を過ぎるとまた急登になり、足取りが重くなり、息が切れてきた。厳しい急登をしばらく登り続けると、初めて展望が開けてきた。登山口から約 2 時間半で山頂に到達。

地図では登り 3 時間となっていたので、高齢者登山としてはいいペースで登ったということか。それにしても 360 度展望が素晴らしい。東に明日上る、経ヶ岳、その後ろは南アルプス・甲斐駒、仙丈ヶ岳。北は焼岳、その右に鋭い岩峰の穂高連峰。その日、焼岳には元カモシカスポーツの D さんが上っていた。西に夏上った御嶽山だったが、上半分は雲の中だった。山頂にも祠があり、安全を祈願し、昼食を取ることにした。昼食後、12 時過ぎに下山開始。登りと同じ道を下ったが、登りが急登だった分、下りも急である。



笹藪



頂上直下

下りは登り以上に足に力が入り、転倒はしなかったが、だいぶ足にダメージがきてしまった。山頂から約1時間半で登山口に到着。地図では下り2時間となっていたので、いいペースで下ったということになる。やはりマイナーな山なのか、平日ということもあるかもしれないが、登り・下りとも他の登山者と出会うことはなかった。

明日は本命の経ヶ岳登山であるが、坊主岳の登・下山でだいぶ足に疲れが残っており心配だった。



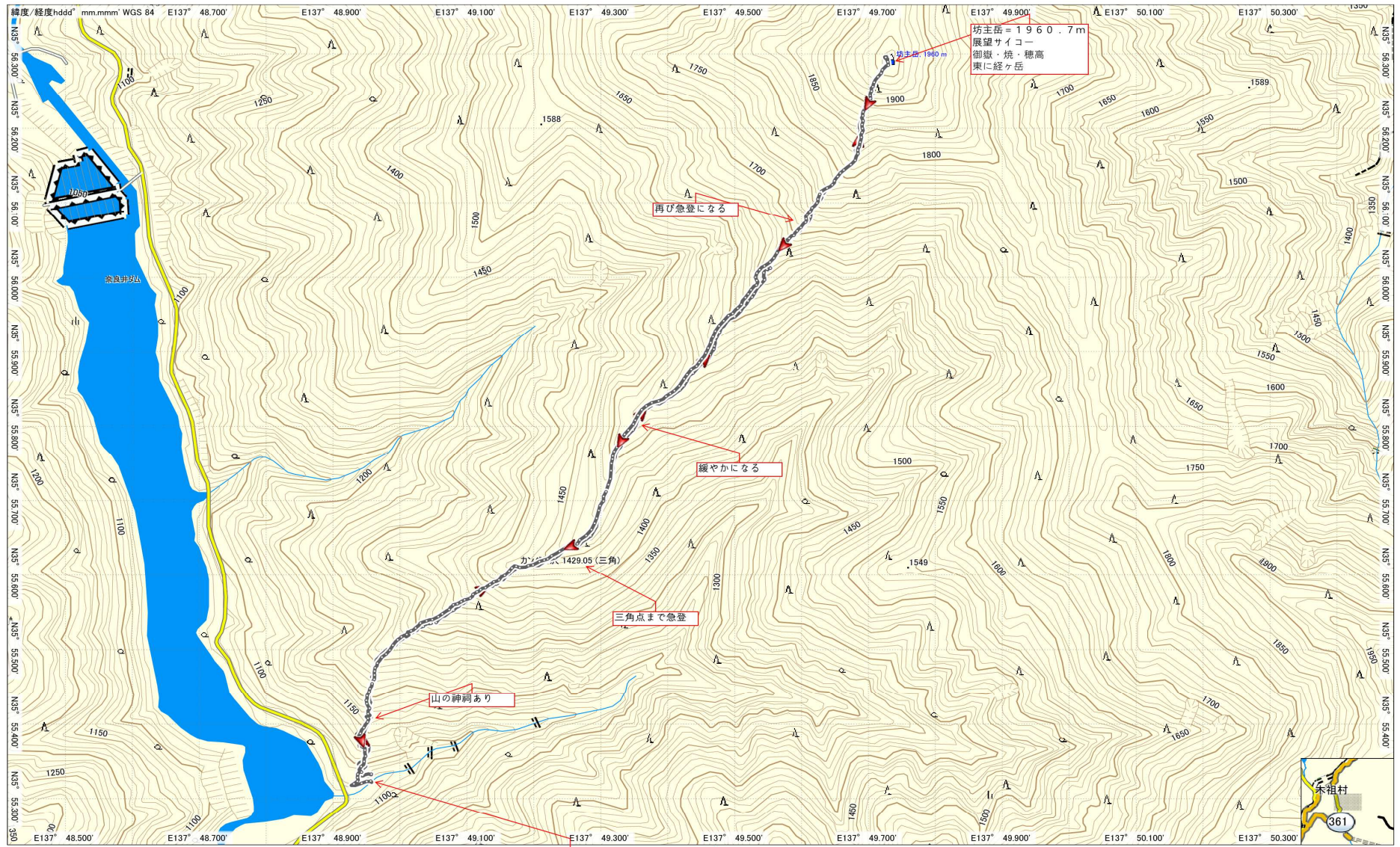
坊主岳山頂の祠



後ろは、経ヶ岳方面



尖がりピークが、明日上る経ヶ岳??



Japan Topo 10M Plus V3
DataMaster Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1999-2014

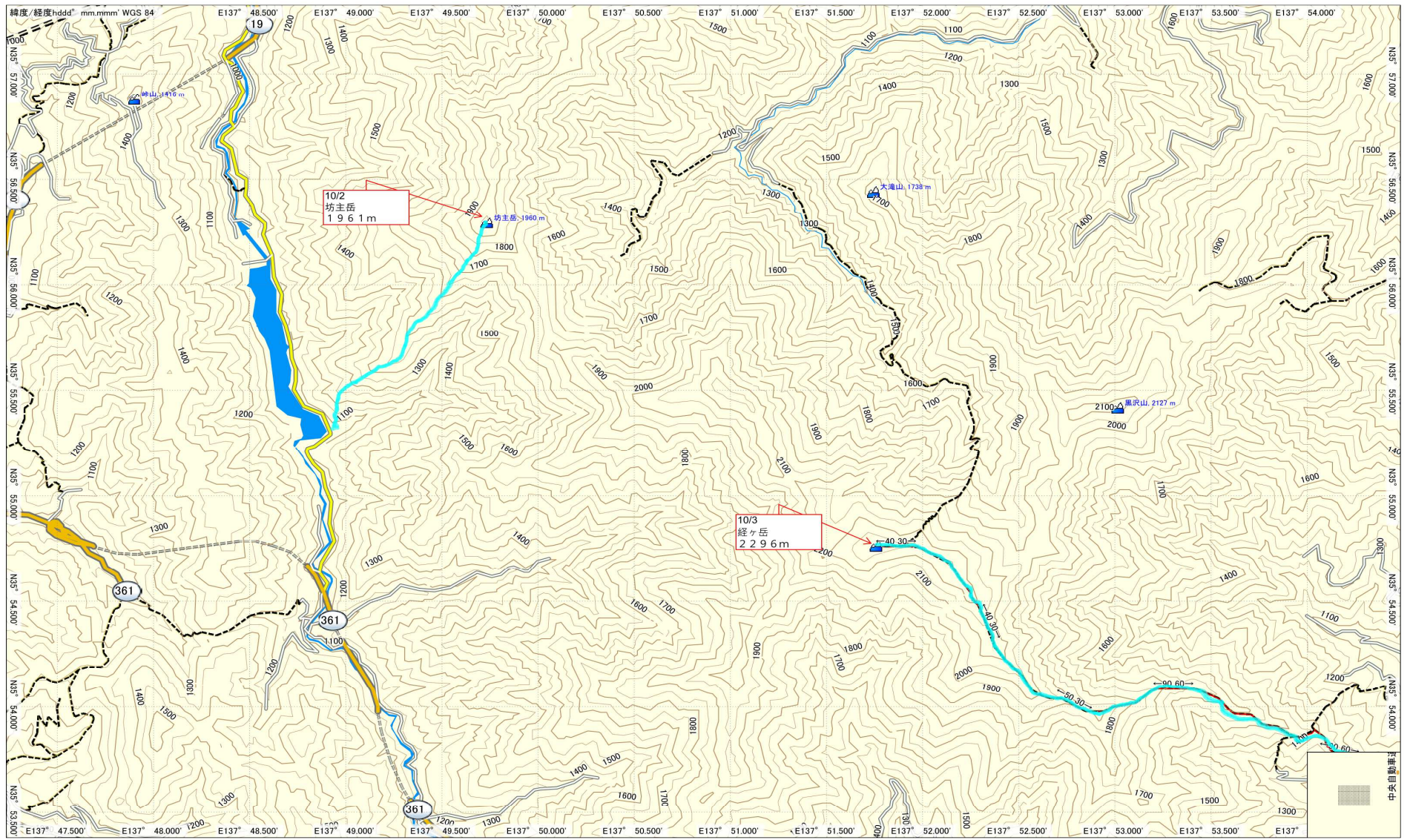
S / G 標高約 1050 m 駐車 1 = 2 台

2020/10/04 13:56:57

0 m 100 m 200 m 300 m 400 m

GARMIN

2018/01/04



Japan Topo 10M Plus V3
 DeLorme Japan Co., Ltd. 2014
 Garmin Corporation 1999-2014

2020/10/04 13:56:57

GARMIN

